

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

コロナに負けず

頑張れ！受験生！

手作りプレゼントでサプライズ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



1月30日（土）、卒業文集作成で出校していた中学3年生に「大宜味中学3年島田クラス輝く20名を応援する会」と大宜味村民生委員・児童委員協議会（島田哲夫会長）から、コロナ禍の中受験に向けて頑張る3年生にサプライズプレゼントが手渡されました。

コロナウイルスの影響で学校も新学期からやむなく休校、楽しみにしていた各行事や修学旅行も規模縮小となり、子どもから大人まで自粛を余儀なくされている生活が続くコロナ禍の中、不安を抱きながらも3月には己の夢に向かって初の受験に挑む中学3年生を後押しできないかと、住民福祉課の島袋経子さんが発案。仲間を集め、密かに準備を進めていました。サプライズプレゼントにはイチゴとイチゴが乗ったシークワサーロールケーキ、絵馬クッキー、シークワサーゼリー、3年生に向けた応援メッセージを詰めました。中身から包装まですべてが手作りでケーキに使った卵は江洲区の照喜名恵子さんから、イチゴは沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社さんから提供していただくことができ、民生委員からは受験にきつと勝つと願いを込めたキットカットがプレゼントされました。

島袋さんは「コロナ禍の中、受験に挑む3年生を応援したく、何かできないかと今回のサプライズ企画を思いついた。企画を話すと教育委員会や、お菓子作りが上手な人などみんなが快く引き受けてくれ、協力してくれた。地域みんなが3年生を応援している。大変なこともあると思うけど、受験に向けて頑張ってもらいたい。勇気をもって一步踏み出すことが大事」とエールを送りました。代表して高江洲愛さんは「私たちのために時間をかけて用意してくれてありがとうございます。この気持ちに応えられるよう、クラス全員が合格できるよう勉強を頑張りたい」と喜びを述べました。当日、参加できなかった生徒もいましたが、友達を通して全員にプレゼントを渡すことができ、心温まる取り組みとなりました。



プログラミングを使ったロボットサッカーの試合に挑戦！



2月11日（木）旧大宜味小多目的教室にて、公民館講座「ロボットプログラミング体験」が開催されました。

今回は、講師にコーダー道場名護より安藤元気先生を招き、パソコンを使ったプログラミングを行いロボットサッカーの試合をしました。試合をするためには、まずロボットに「前に進む」「止まる」「ボールを追いかける」などのプログラムを入力し、動かさなければなりません。初めは思ったようにロボットが動かず戸惑う様子も見られましたが、それ

ぞれロボットを動かしてみ、うまく動かなかった場合はプログラムの修正をしてまた動かしてみ、と試行錯誤を繰り返し、次第にイメージ通りに動かせるようになっていました。

最後にはロボットサッカーでの対戦。どのロボットもしっかりとボールを追いかけることができ、親子で楽しくプログラミングを学ぶことができた講座となりました。



～教育委員会 会議だより～

大宜味村教育委員会では毎月第4木曜日に教育委員会会議を行い、教育に関する方針の決定、教育委員会規則の制定やその他重要な事項の決定を行っています。ただし、緊急の場合は臨時会を招集して審議を行います。教育委員会会議だよりでは、会議で決定した事項をお知らせして参ります。

第1回 教育委員会会議 令和3年1月30日（木）午後1時30分開催

議案第1号 財産の取得について（学校施設空間除菌脱臭機購入） 《原案可決》

※コロナ地方創生臨時交付金事業を活用し、小・中学校・こども園に、空間除菌脱臭機を31台購入を予定しております。

図書室情報 No.19 2021年（令和3年）3月

大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編集係内）
大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

利用状況累計

- 来室者数…のべ866人
- 貸出冊数…1,678冊
- 登録者数…89人
- ★現在の蔵書数…5,767冊

2月の統計（2/22まで）
○来室者数…のべ36人
○貸出冊数…86冊

新本・リクエスト本 紹介



寄贈本



新しい県立図書館の本は、4月から貸出予定です。

※来室の際は、マスクの着用、手指の消毒にご協力ください。

3月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

オリジナル絵本にみんな夢中♪ 大宜味中3年生こども園に手作り絵本贈呈

2月10日（水）、大宜味中学校3年生がこども園を訪れ、絵本の読み聞かせを行いました。

読み聞かせで使った絵本は家庭科の授業で作成したもので、しかけが施されているもの、かわいいキャラクターが登場するものなど物語にも凝っている世界に1つだけのオリジナル絵本です。生徒たちはペアや班になって園児たちに自分たちの本を読み聞かせました。



お兄さん、お姉さんが来てくれたことが嬉しい園児たち。読み聞かせの後には一緒にマルモリダンスを踊ったり、園庭で一緒に遊んだり楽しい時間を過ごしました。

最後に3年生から今日読んだ絵本が園に贈呈。園児たちは中学生が帰った後も友達同士で絵本を読みあって楽しみました。



美味しい卵で元気もりもり！ 屋富祖工業より大宜味っ子へ卵 300個プレゼント

2月9日（火）、有限会社屋富祖工業の屋富祖功代表取締役が役場村長室を訪れ、大宜味村給食センターに卵300個（約15kg）を贈呈しました。

屋富祖工業は昨年より村白浜区で養鶏を行っており、放し飼いで飼育、餌にもこだわっている。ストレスのない環境で鶏を飼育し、いずれはアレルギーがある人にも食べられる卵を目指している。

屋富祖さんは「大宜味村で商売をさせていただいているので、村に貢献したいと思った。屋富祖工業の卵を村の子どもたちにも味わってほしい。できれば3か月に1回くらい卵を提供したい」と話しました。

卵は16日の給食でゆで卵として1人に1個ずつ提供されました。おいしい卵ありがとうございます！



身近な植物、野菜を使って… 大人の草木染め

2月20日（土）、旧大宜味小学校家庭科室において、ぶながやの里生涯学習講座「大人の草木染め」が開催されました。

今回はフクギの葉とアボカドの種を使い、みょうばん媒染、鉄媒染でスカーフ染めに挑戦します。

まずは染料となる材料集めから。なるべくきれいなフクギの葉を探し採集します。集めた葉っぱは軽く水洗いし、細かく切って煮出します。アボカドは事前に集めていた種（冷凍保存）を細かく切って煮出し染料を作ります。染料を作っている間に布の準備。輪ゴムや割り箸を使って絞りを作ります。布を一旦濡らし、いよいよ染め作業。みょうばんは先媒染（アボカド）、同時媒染（フクギ）、鉄は後媒染（アボカド）を行いました。鮮やかに黄色に発色するフクギ。アボカドはきれいなピンクになるはずでしたが、



材料が足りなかったせいか、生地の違いか思うような色にならず、がっかりさせてしまいましたが、皆さん上手に染め上げてくれました。次回は期待通りできるよう、講師共々勉強したいと思います。



2月7日（日）、大宜味小学校できらめき発表会、大宜味中学校で日曜授業参観、くがに一発表会が行われました。

きらめき発表会では1年生から3年生がクラス発表、4年生から6年生は各々が所属しているクラブでの活動を発表。1年生は授業風景を模してこの1年でできるようになったことを表現。国語も算数も理科も体育も音楽もとても楽しく学べていることがわかりました。パフォーマンスクラブは朗読劇を披露。場面場面にあった音楽を様々な楽器で奏で物語に膨らみを持たせました。午後からは中学生によるくがに一発表会。ミルクムナリの曲に合わせて2頭の獅子舞が颯爽と登場し、力強い動きと優美なしぐさを見せてくれました。各学年の発表では地域について調べたことや職場体験の様子を発表。3年生は「プロジェクト0」と題して大宜味村を活性化するための方法を提案しました。他にも国頭地区総合文化祭で披露したダンスや四重奏、琉舞や学校紹介プレゼンテーションの発表もあり活気あるくがに一発表会となりました。

大宜味小きらめき発表会 空手：空手の達人

学校紹介プレゼンテーション

大宜味中 くがに一発表会



村史編さんだより

第119号 2021年3月1日 大宜味村村史編纂係44-3009



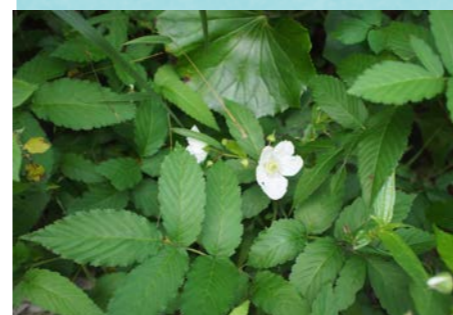
村内で一番高い山 ネクマチヂ岳を踏査

2/18（木）

『人と自然編』調査と写真撮影を兼ねて、ネクマチヂ岳に登りました♪
 ガイドさんによると、一口に山原といっても、大宜味村の自然は三村の中でも特に多様性に富み、ネクマチヂ岳は石灰岩地域の植物と赤土を好む植物と一緒に見られる、大変珍しい唯一無二の山であり、世界に誇れるほどの宝物なのだそうです。
 普段何気なく見ている植物でも、説明を聞くことで断然、興味が湧いてきます。伐採後のひこばえから大木に成長したスダジイやマテバシイが点在する森の中で、自然と共存してきた先達の生活に思いを馳せ、通常40分程度で回るコースを3時間かけて回り、大宜味村の自然の希少性、重要性を実感しました。



当日は最低気温1℃、山頂では海からの強風が吹き付けた寒い日



美味しい実がなるリュウキュウバライチゴ



サツマイナモリ



ひこばえから大木に成長したイタジイ



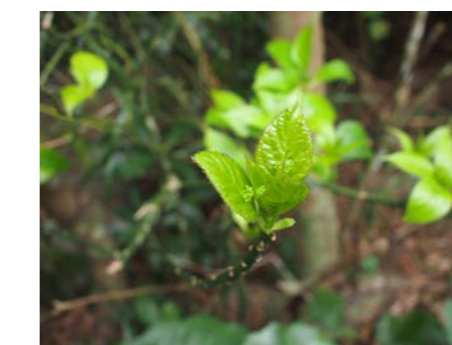
ムサシアブミ



手前：ホチョウジ 奥：ナガミホチョウジ



コノハチョウの食草オキナワズムシソウ



リュウキュウハナイカタ



炭焼窯の跡



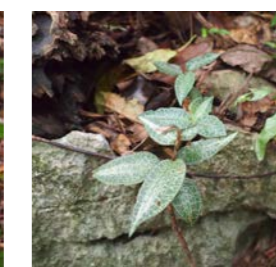
アオミオカタニシ



キセルガイ



センリョウ



カゴメラン



アリドウシ

『杣山制度論』を読む 六 仲吉朝助著・明治三七（一九〇四）年

杣山に関する間切、島、村の営林機関（一一八号より続き）

琉球藩に於て制定せる間切、島、村営林機関に関する規程を左に掲ぐ
 一、杣山（中略）致明地候儀一向御召留被仰付置候趣夫地頭、所之掟、村山当にて百姓中堅く申渡置土手之内に明地焼山無之様毎月朔日十五日番所総揃之時地頭代総山当首尾承届置山奉行被罷通候節証文以申出候事
 付土手之儀修繕所有之候時は則地頭代へ申聞夫々員数相考修補仕候也
 一、山之大ヒヤ一ヶ月五度宛山中罷通明地焼山土手等能々入念見届善悪之首尾方則々総山当へ申聞候事
 一、諸木之内御用に可相立木は見立候て札付又は判形仕置御用木帳に載せ聊爾無之様に毎月朔日十五日百姓中へ堅く申渡格護仕候事
 付御用木之俵間切格護之帳に載せ取納座へ差出印形申請格護可有之候也
 一、杣、杉指付候儀山奉行より被申置候通毎年村山当にて村々敷地見合地頭代並びに総山当首尾申聞候わば其の場所差越地合見分之上に植付させ候事
 付草取之儀は年に両度総山当方見届之上取させ申候尤山奉行所へ宿次を以首尾申出候也

一、木タライ並剥舟水舟之儀大木を以作調候故へ漸々木絶に相成候間公儀御始一向御召留被仰付置候趣委曲百姓中へ申渡置毎月朔日十五日番所総揃之時夫地頭、掟々村山当にて無如在段頭代並総山当へ首尾申出候事
 一、他間切よりイク木並大材木御用に付て割符之内不有合節当間切山より切申度由捌庫理中より書付を以申出候わば則地頭代へ申聞切調させ候事
 一、洪之実モリ取候御本より切倒或は枝を切落候儀御禁止被仰付置候間本木不痛モリ取候様百姓中堅申渡候事
 付山回之時山当、山之大ヒヤ山々見届地頭代へ首尾申聞候也
 一、唐竹之儀毎年八月限地頭代、総山当、掟文字山之大ヒヤ相列山々致見分草取させ新古竹寸付にて相改候事

一、樫（羅漢松）一、なぎ 一、杣 一、杉（其の他禁止木の名を列記略す）
 右は脇商買御禁止被仰付置事候得共又以公事帳に相記相渡候間彌右之物数入切御用並時々御用付て取調積入候砌入念相改引付等正敷相札可積入事
 （以上杣山所在各間切公事帳）

一、総山当並村山当之儀は萬端山奉行差図を受随分出精杣山盛生為仕候様に可相働旨可申渡候且又地頭代事一ヶ間切総頭役候間折々山奉行へ相付山中致見分杣山之為何編百姓下知方入念候様可申渡事（山奉行所規模帳）
 一、杣山（中略）諸木立延又曲木勝罷成立兼候儀は畢竟（ひっきょう）山工人之善悪次第に之有候山工人山工之正法を以致山工候わば如何程衰微之山にても漸々諸木立延終に杣山相栄可申候又山工人心之儘致山工候わば如何程栄候山にても諸木漸々曲木勝に相成終に藪山に可罷成候間此段山当、山師へ能々申聞せ百姓中山工之正法相守候様折々可申付候（杣山法式帳）
 一、材木之儀国土無之候て不叶候故此程段々御物入を以仕立方被仰付候然は杣山之盛衰は題目山工之致様相係候付山師、山工人各山敷佐分召授置候間居彌正法を以山工仕候様可申渡事

一、山当、山師、山工人毎月朔日山奉行筆者詰所へ罷出諸事差図を請各職分入念可相勤候（以上山奉行所公事帳）
 一、杣山仕立、養生、取締向等之儀、（後略）
 以上の規定に基きて間切、村、各々其の営林事業に従事し、而して村は通例毎月朔日十五日に其の担当の営林景況を間切に報告し、間切は山奉行に向て管内杣山の実況を毎月一回報告すること前規程に示したる所の如し。
 尚、中頭、国頭の各間切に於ては、右規程の営林事業を一層適切に施行し、併せて管内人民をして充分なる愛林思想を發達せしめる為、毎年春秋二期山勝負なるものを施行せり。

山勝負とは其の担当杣山に対する営林事業の実績を品評するものにして、其の方法は、間切に於て（藩制時代には下知役、検者、山筆者、地頭代、総山当に於て協議し置県後には山方筆者、間切長、勸業委員協議して）其の期日並に品評すべき項目を定めて各村に示達し其の期日に至れば間切吏員、村吏員（間切に依りては人民の重なるものも加う）立会して杣山実地の調査をなし、其の否点を検して否点多き所を負とし、勝ちたる村には沖繩県知事並に間切より賞金、賞品を授け、負けたる村には予め約定せし所の罰を加う。

其の懲罰の方法は否点数に応じて村吏、山当、村民総代を公衆の前にて異様の仮装をなさしめて辱しむるを普通とすれども、尚、間切に依りては相当の違約金を出さしめ、之を山勝負費に充つる所あり。



「しまふとうば」ぬくとう 62



うみがーみー

平成 28 年度にこれまで村内に 4 校あった小学校が、統合により 1 校になり新生大宜味小学校として現在の場所に誕生した。そして同時に渡海（とうっけー）にあった大宜味中学校も現在の場所に移転し、小学校・中学校が併設されて 5 年目になる。

平成 28 年 4 月に新学期が始まると校門で村長、小・中校長、指導主事、塩屋駐在、教育長の 6 名他、での「あいさつ運動」（決まった名称ではない）がスタートし、現在に至っている。

登校時に校門は賑やかになり、児童・生徒一人一人の表情を確認することができた。元気・不元気・眠そう・大きい声・小さい声・無口等々、多くの表情を確認することができ、児童・生徒の表情によってはこちらから声掛けをしていたりした。

「あいさつ運動」を続ける中で気づいた点を幾つか紹介しよう。

1 つ目は、当たり前なことなのだが児童・生徒は日々身体的に成長していて、自分より背丈が低かった児童・生徒がいつの間にか自分の背丈に並びそして追い越し、さらに伸びていくことである。中学 2・3 年生になると多くが私を追い越していく（私の背丈が全国平均より低いということもあるのだが）。頼もしく見える。

2 つ目は、5 年前から現在に至るまで、言葉使いの変化を感じている。特に中学生は丁寧語がすっかり定着しているように思う。

3 つ目は 3 台のスクールバスの到着順序が毎日ほぼ同じであり、また徒歩、自家用車で登校する児童・生徒の順序もほぼ同じであることである。来るべき時間帯に来ないと気になったりする。・・・約 40 分の校門での「あいさつ運動」は私自身も子どもたちから元気をもらい、そのままの気持ちで出勤している。子どもたちに感謝の日々でもある。

世の中は 1 年余の「コロナ過」、マスク姿の児童・生徒の表情が見えないのが残念である。「コロナ過」は様々なところに色々な影響を及ぼしていることを再認識させられている。

“はめなーなー うぬコロナや 車ぬ名前ーでいどう うむいたしが ゆめながかわいるあたい しきんさわがついしが いちなりばねんないぬばーがやー まーしんそーちやるちゅーぬん いきさんういしが・・・うーとーとう”

今月の生きもの

セイヨウミツバチ：ミツバチ科



暖かくなりましたね～。気持ちいいですね～。

どうも、私セイヨウミツバチです。シークワサーの花が咲いて私たちも密集めに大忙しです。実は私たち花粉と花蜜両方集めています。蜜は吸って蜜胃に入れ、巣に戻ったら吐き出して巣に貯蔵。女王や他のハチたちの食料となります。花粉は集めて団子にしたら、後ろ足の花粉バスケットと呼ばれる所に集めます。花粉は幼虫の大事な食糧になるから花粉もたくさん集めなくちゃ。春は花がいっぱい。大変だけど食料も豊富にあって大好きなの。

3月の行事予定

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 1 日（月）県立高校卒業式 | 14 日（日）軽スポーツ講習会（テニポン） |
| 2 日（火）区長会 | 18 日（木）（園）修了式（5 歳児） |
| 3 日（水）県立高校入試① | 19 日（金）（小）卒業式（中）修了式・離任式
少年を守る日 |
| 4 日（木）県立高校入試② | 20 日（土）春分の日 おきなわ地域教育の日 |
| 6 日（土）（中）卒業式 | 21 日（日）家庭の日・ファミリー読書 |
| 8 日（月）振替休日（3/6 卒業式 中） | 軽スポーツ講習会（ルゲックウォーキング） |
| 9 日（火）（小）学級保護者会 | 22 日（月）（小）修了式・離任式 PTSA 送別会 |
| 10 日（水）県立高校合格発表 | （園）修了式（3・4 歳児） |
| 13 日（土）（中）部活動対抗駅伝 | 25 日（木）定例教育委員会議 |
| （中）野球県海銀杯 ～ 14 日 | 31 日（水）退職者辞令交付式（園）修了式（全園児） |

3月5日



サンゴの日